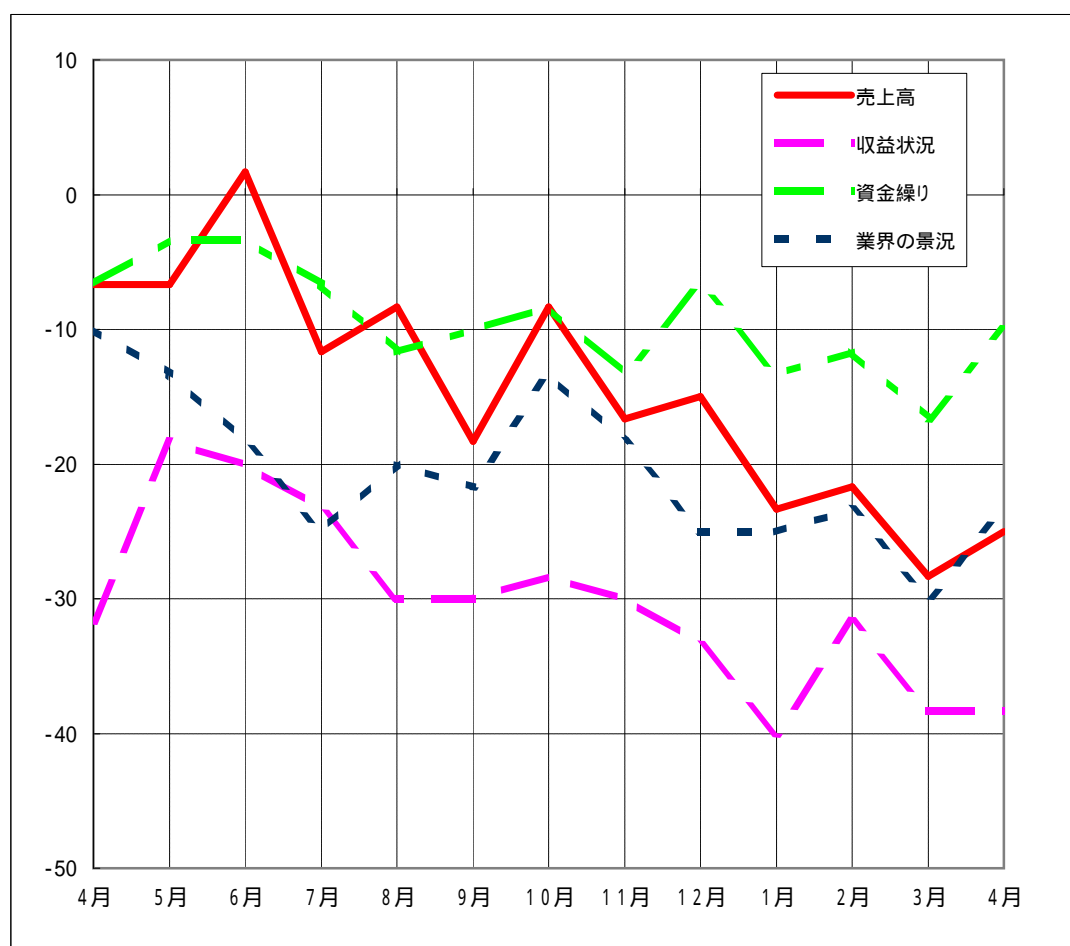


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成18年4月～平成19年4月

単位:ポイント



	H18					H19							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
売上高	-6.7	-6.7	1.7	-11.7	-8.3	-18.3	-8.3	-16.7	-15.0	-23.3	-21.7	-28.3	-25.0
収益状況	-31.7	-18.3	-20.0	-23.3	-30.0	-30.0	-28.3	-30.0	-33.3	-40.0	-31.7	-38.3	-38.3
資金繰り	-6.7	-3.3	-3.3	-6.7	-11.7	-10.0	-8.3	-13.3	-6.7	-13.3	-11.7	-16.7	-10.0
業界の景況	-10.0	-13.3	-18.3	-25.0	-20.0	-21.7	-13.3	-18.3	-25.0	-25.0	-23.3	-30.0	-23.3

4月のDI値をみると、前年同月より上記全項目で悪化した。

「売上高」については前年同月より18.3ポイント、「業界の景況」については13.3ポイント悪化し、それぞれマイナス20%台に推移、「収益状況」については6.6ポイントの悪化でマイナス30%台を継続中、「資金繰り」については3.3ポイントの悪化でマイナス10.0となった。

ここ3ヶ月の景況は、一進一退に推移しており、なかでも「収益状況」が引き続き厳しい状況下にある。

組合の特記事項から、製造業では「鉄鋼・金属」「一般機器」の一部で、企業間格差はあるものの受注は堅調である旨の報告が見受けられたが、全体的には原材料価格の高値推移で収益性が厳しいとする報告が多い。

また非製造業においては、受注減・収益減と言う報告の他、先月に引き続き組合員の脱退に関する報告もいくつか見受けられた。

中小企業の景況は、原材料価格の高値等により、相変わらず先行き不透明で厳しい状況が続いていることが窺える。